

## (No.4) ワーク1

「自社らしさ」といったときに最初に思い浮かぶことはなんですか？  
自社の組織風土の特徴、他社との違いがわかるようなことを、考えてみましょう。  
できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

自社に特徴的な風土・雰囲気はありますか？

自社ならではの特徴や良さなどは「強み」です。

「日本企業なら」「日本なら」と一般化するのではなく、自覚して、自社（支援先企業）の持つ特性を外国人社員に伝えていきましょう。

「自社らしさ」を大切にしてコミュニケーションをとることで、外国人社員に期待する役割や行動を伝えやすくなります。

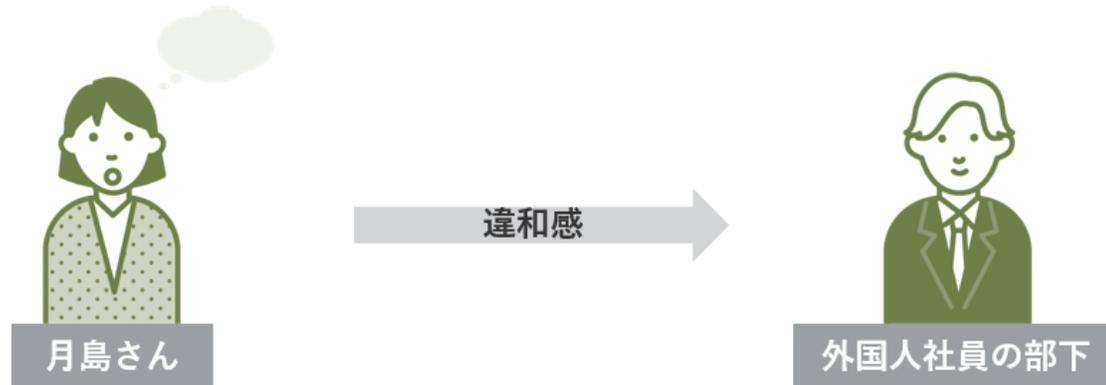
次の動画以降で、異文化コミュニケーションの理解を深めていきましょう。

## (No.4) ワーク2

(「事例紹介1」の動画を視聴してから回答してください。)

外国人社員の仕事について、期限やレベルが期待通り対応されないことがあり、部下とのコミュニケーションに悩む事例を紹介しました。

あなたは、この事例のように、「外国人社員とのコミュニケーション」で困った経験をしたり、話を聞いたりしたことはありますか？  
経験や感想について、できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。



## (No.4) ワーク2

回答例 ※正解例ではありません

- ・「外国人社員が、納得のいかないことに対して怒りをあらわにすることに戸惑った。日本人社員同士の会話では、感情を大きく表現することが少ないので驚いた。」
- ・「仕事を依頼したが、やる必要がなさそうなのでやらなかったと言われてしまった。」
- ・「ある業務をなるべく早く仕上げしてほしいと伝えたところ、想定していた期限になっても連絡がなかった。確認すると締切が明確でなかったのもまだやっていないと言われた」

このように、外国人社員とのコミュニケーションで困ったり、違和感を覚えたりしたことがある方も多いのではないのでしょうか。それは**国民性の違いだけではなく、文化や会社観、コミュニケーションスタイルなど様々な違いに起因しています。**

次の動画以降で、異文化コミュニケーションのポイントを学んでいきましょう。

## (No.4) ワーク3

(「1 異文化コミュニケーション (前半)」の動画を視聴してから回答してください。)

### 【会社観を考えてみましょう】

- ①表の「時間軸」において、自社（支援先企業）は何を重視しているでしょうか。
- ②表の「契約内容」において、自社（支援先企業）は何を重視しているでしょうか。
- ③表の「採用」において、自社（支援先企業）は何を重視しているでしょうか。
- ④表の「育成」において、自社（支援先企業）は何を重視しているでしょうか。
- ⑤表の「報告・連絡・相談」において、自社（支援先企業）は何を重視しているでしょうか。

	日本企業（一般論）	海外企業
時間軸	長期雇用	短期雇用
契約内容	限定なし (地域や職種などが 限定されない)	限定あり (地域や職種などが 限定される)
採用	将来の可能性に重き	現在の発揮能力に重き
育成	OJT・異動が中心	マニュアル・座学が中心
報告・連絡・相談	できるのが優秀な社員	マイクロマネジメント として避けられている

できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

「1 異文化コミュニケーション（前半）」の動画では、日本企業と海外企業を比較し、その会社観の違いを説明しました。

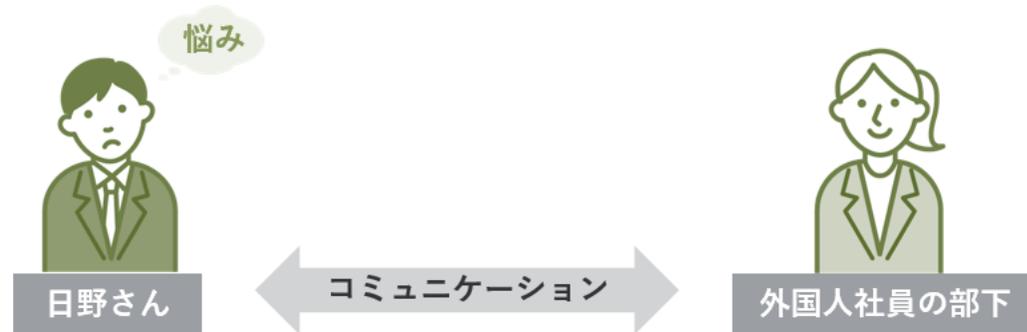
自社（支援先企業）の会社観は、人事制度にも反映されています。  
会社観があまり思い浮かばなかった方は、自社（支援先企業）の人事制度を参考に、どのような観点を重視しているかを考えてみましょう。

これらの会社観には様々な考えがありますが、正解があるわけではなく、どの会社観にも良さがあるということを押さえておきましょう。

## (No.4) ワーク4

(「事例紹介2」の動画を視聴してから回答してください。)

日本の職場において、日本語が堪能なはずの外国人の部下に指示がうまく伝わらず、コミュニケーションに悩んでいる日野さんの事例について、あなたは似たような経験をしたり、話を聞いたりしたことはありますか？



経験や感想について、できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

回答例 ※正解例ではありません

「ある外国人社員がミスをしたときに、報告書を書かせたところ、今後の改善策の欄に「なし」と書かれてしまった。日本人社員の場合には改善点を書かないことはこれまで無かったので、どのように指導したらいいか戸惑った。」

日本語の意味は通じていても、外国人社員に求める行動などが伝わらないことで、事例のような悩みが生じることがあります。

「当社はこういう会社です」といった自社のやり方、スタイルなどの会社観を伝えて、理解してもらうことが大切になります。

「うちの会社はこういうことを期待しているので、このように働いてほしい」、  
「お客さんが求めるサービス（商品）はこういったものなので、それを提供するように対応してほしい」というように、外国人社員に期待する役割や行動を説明するようにしましょう。

また、会社が大切にしている価値観については、口頭で伝えるだけでなく、明文化して社内で共有するようにすると、誤解が生まれにくくなります。

記述していただいたあなたの経験を踏まえて、この後の動画で、日本企業におけるコミュニケーションについて学びましょう。